

埼玉県学力・学習状況調査 (中学校) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

復習シート 第一学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【文脈に即し、適切な同訓異字を選択する問題】 レベル7～9

1 次の文の——部に当てはまる漢字を、下の() から一つ選んで、丸をつけよう。

①身長をはかる。(測る) ・ 量る ・ 計る

②川の水がすむ。(住む) ・ 済む ・ 澄む

【同じ構成の三字以上の熟語を選択する問題】 レベル9・10

2 次の①～③と同じ構成(成り立ち)になっている三字以上の熟語を、それぞれ下の() から選んで、丸をつけよう。

①諸問題 (未提出) ・ 松竹梅 ・ 警察署 ・ 高性能

②可能性 (衣食住) ・ 電車賃 ・ 緑地化 ・ 非常識

③臨時列車 (海水浴客) ・ 正三角形 ・ 起承転結 ・ 入学試験

【主語に対する述語を文中から選択する問題】 レベル10・11

【臨時列車】二字熟語+二字熟語

3 長い文を読むときには、次の例のように、主語と述語との関係に注意すると意味が分かりやすくなります。

□の中の文で、主語を示す部ア・イの熟語にあたるものを、——部1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

(例) みんなが植えた木は、どんどん育った。

(主語) (述語)

主語は、「だれは(が・も)」「何は(が・も)」を表す言葉です。述語は、「どうする」「どんなだ」「なんだ」を表す言葉です。主語と述語だけをつなげて短い文になるかどうかを確認してみましょう。

アわたしは、アサガオの青いイ花が次から次へと1さいいて、やがて黒い色を2した
たくさん3の種が、4でできるまでの様子を毎日観察した。

アわたしは

4

イ花が

1